

成果指標				
成果指標	診療報酬収入			
指標設定の考え方	医療用機械器具の導入により、患者に有効な治療を行うものであるが、診療内容等について関係機関の審査を得るため、診療報酬収入を指標として設定した。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	32751	34783	0	0
実 績	35246	36043	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	医療行為に使用する機器については、常にメンテナンスを欠かさず、不具合はすぐに修理等対応する必要がある。新たな機器購入にあたっては、使用頻度、費用対効果を精査し購入の可否を判断する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	高度な医療に対応するため、機械器具の購入は必要であるが、コスト効率等の精査を行う等計画的な整備を図っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題